

# 病院の再編は地域住民に何をもたらすのか？

## —地域の視点から病院再編の効果を分析する—

2010年代から我が国では医療機関の再編や統合が進められています。特に地域医療の中核となる公立病院については、地域のニーズに応じた再編が各地で検討されてきました。しかし、これまで病院の再編や統合について、その効果を地域住民の立場から分析した研究はほとんど報告されていませんでした。

今中雄一 医学研究科附属ヘルスセキュリティセンター教授、國澤進 医学研究科准教授、岸本健治 客員研究員らの研究グループは、国内で実際に行われた公立病院の再編事例について、再編後に住民の入院数や受診数がどのように変化するか、保険請求データを用いて分析しました。再編が行われた地域は過疎化と高齢化が進み、再編前は入院を必要とする住民の多くが他の地域に入院していました。65歳以上を対象として再編前後の7年間に入院した計58,929件を分析したところ、その地域内に入院した患者数は再編後に増加し、他の地域に入院した患者数を上回りました。この結果は、この再編によって地域住民へ医療を提供する体制が向上したことを示唆します。

本研究成果は、2026年4月2日に国際学術誌「*BMC Health Services Research*」にオンライン掲載されました。

### 病院の再編は地域住民に何をもたらすのか？

#### —地域の視点から病院再編の効果を分析する—



#### テーマ

「公立病院の再編後に  
住民の入院はどのように変化するか？」



#### 対象

- ・ 過疎化と高齢化が進む地域で  
実際に行われた公立病院再編の事例
- ・ 地域住民の入院数と入院先を分析



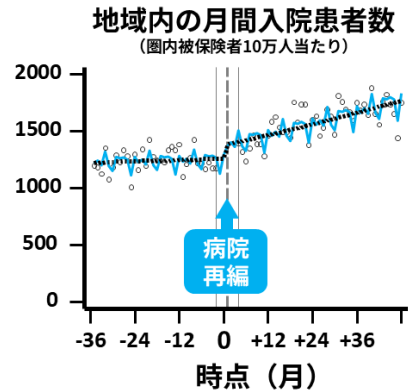
#### 結果

再編前 入院先は 地域外 > 地域内  
再編後 入院先は 地域外 < 地域内 ▲ (右図)



#### 意義

地域の入院動向を分析することで病院再編  
の効果を評価しえることが示唆された。



本研究のテーマと結果の概要 (作成 岸本健治)

## 1. 背景

2010年代から我が国では、スタッフ不足や経営難を背景として、医療機関の再編や統合が進められています。また高齢化や少子化に伴い、地域の医療ニーズには変化が生じてきています。特に救急医療や過疎地域の診療を担当する公立病院については、医療提供体制の中核としてその再編が各地で検討されてきました。これまで病院の再編や統合を調査した先行研究では、病院単位の実績や経費の推移が指標とされることが多く、その効果を地域住民の立場から分析した研究はほとんど報告されていませんでした。本研究は、公立病院の再編が地域住民に及ぼす影響を分析することを目的として行われました。

## 2. 研究手法・成果

本研究では、国内で実際に行われた公立病院の再編事例について分析を行いました。再編が行われた二次医療圏[注1]では過疎化と高齢化が進み、再編前には入院を必要とする住民の多くが他の二次医療圏に入院していました。この二次医療圏に住む65歳以上の住民を対象として、住民の入院数や受診数は再編後にどのように変化するか、大規模な保険請求データを用いて分析しました。再編前後の7年間に入院した計58,929件を分析したところ、その二次医療圏内に入院した患者数は再編後に増加し、他の二次医療圏に入院した患者数を上回りました。さらにこの変化は85歳以上のグループで最も顕著であったことが分かりました。この結果は、この再編によって地域住民へ医療を提供する体制が向上したことを示唆します。

## 3. 波及効果・今後の予定

本研究は、国内の具体的な事例に基づいて病院再編の効果を検証しました。地域における入院の動向を詳細に分析することで、再編の効果を評価しえることを示した点に意義があります。一方で本研究は、使用したデータの特性のために、患者さんの重症度や社会経済状況との関連は分析できていません。また病院再編の効果は、地理的な条件、周辺地域の医療体制などの影響を受けると考えられ、本研究で示された結果を他の事例に応用するには注意を要します。この研究の結果を踏まえ、今後は他の再編事例を対象とした研究や、特定の病気や治療に焦点を当てた分析によって、さらなる知見が集められることが期待されます。

### <用語解説>

[注1] 二次医療圏：一般的な入院治療がほぼ完結するように定められた区域（全国で約330区域）を指す。

### <研究者のコメント>

病院の再編や統合は、患者さんや医療者にとってはもちろんのこと、医療政策や社会全体にとって重要な関心事となっており、この研究テーマの知見の意義は大きいと感じています。実際に再編が行われた地域の実情や経緯、その影響を知るための情報やデータの収集、分析において、一般の医学研究とは異なり諸々の困難を乗り越える必要がありました。地域住民に基づいた分析を示した点、再編後の観察が比較的長期間である点、医療圏内外における受療者数の推移を示した点が本研究の強みとして挙げられます。（岸本健治）

<論文タイトルと著者>

タイトル： Impact of public hospital restructuring on the admission of elderly residents in Japan: a regional population-based study

(公立病院の再編が高齢者の入院に及ぼす影響：地域住民に基づく研究)

著者： Kenji Kishimoto, Susumu Kunisawa, Yuichi Imanaka

掲載誌： *BMC Health Services Research* DOI : 10.1186/s12913-026-14388-3